

フェリス女学院大学 読書運動プロジェクト 2017

本のこと
語り出した
とほらない...



さまざまな分野で活躍する

現代女性作家

小説、ノンフィクション、絵本、被災地支援活動...さまざまな分野で女性作家が活躍しています。私たちと同時代に生きる彼女たちが、作品を通して投げかけているものは...? 今年度の読プロでは、読書会を始めいろいろな活動を通して、現代女性作家の作品を多角的に読み深めていきます。



FERRIS
UNIVERSITY

読プロメンバー
募集中♡

フェリス女学院大学附属図書館 TEL:045-812-6999 E-MAIL:r_library@ferris.ac.jp <http://www.library.ferris.ac.jp/dokupuro/>

読書運動プロジェクト

活動報告書

目次

| | |
|-------------------------|-----------|
| 目次 | |
| 活動資料 | (1) ~ (5) |
| はじめに | 1 |
| 読書会 | 2 |
| データ | |
| 第1回 「私のオススメ本」 | |
| 第2回 「『蜜蜂と遠雷』を読んで感想を話そう」 | |
| コンテスト・コンクール | 4 |
| データ | |
| POP コンテスト | |
| 創作コンクール | |
| 展示 | 7 |
| データ | |
| 展示 | |
| コラボランチ | 11 |
| 選書ツアー | 12 |
| 文学散歩（神奈川近代文学館） | 13 |
| 他大学図書館訪問 | 14 |
| 大学祭 | 15 |
| 展示 年間テーマ・読プロ活動紹介 | |
| ワークショップ「My しおりを作っちゃおう！」 | |
| 読み聞かせレッスン | 18 |
| 小学校朗読会 | 19 |
| 朗読会 | 21 |
| データ | |
| 第1回 大学祭朗読会 | |
| 第2回 文学館朗読会 | |
| プロフィール | 25 |
| 学生メンバー | |
| 朗読チーム | |
| 読プロキャラクター“リプロ” | |
| おわりに | 33 |

■イベント

| イベント名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|---------------------------|---|---|---|
| 年間テーマ「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」 | 4月1日(土)～3月26日(月) | 附属図書館本館 展示コーナー (緑園キャンパス) | 年間テーマ関連の資料60点を展示 |
| 読書運動PR | 4月3日(月) | 緑園キャンパス体育館 | 新入生学内オリエンテーション参加 活動紹介、展示、メンバー募集 |
| ミニ朗読会 | 4月24日(月) | 附属図書館本館 グループ学習室② (緑園キャンパス) | 新入生勧誘のためのミニ朗読会 【朗読】: 読書運動プロジェクト朗読チーム 【演目】 『セロ弾きのゴーシュ』宮沢賢治 (2月12日神奈川近代文学館朗読会の映像) 中原中也の詩 6篇 【演出・指導】鈴木千秋先生(本学朗読講師) |
| 第1回読書会 | 5月25日(木) | 附属図書館本館 読書プロモーター ルーム (緑園キャンパス) | 【テーマ】: 私のオススメ本(現代女性作家の作品) 【紹介された本】 『ジョーカー・ゲーム』柳広司(女性作家でないがオススメ) 『パンとスープとネコ日和』群ようこ 『本日は、お日柄もよく』原田マハ 『本屋さんのダイアナ』柚木麻子 『紅茶と薔薇の日々』森茉莉 『カブキブ!』榎田ユウリ 『ななつのこ』加納朋子 『パリで待ち合わせ』デボラ・マッキンリー |
| 読み聞かせレッスン(前期) | 6月2日、16日、23日、30日 7月7日、14日、21日 全て金曜日 | 附属図書館本館 グループ学習室② (緑園キャンパス) | 読み聞かせに適した絵本の選び方から、手遊び歌・わらべ歌、読み聞かせの実践までを専門家に学ぶ。 【講師】 菊地彰子先生(読み聞かせ指導者) 藤本朝巳先生(本学文学部教授・図書館長) |
| セカンドチャンス | 6月12日(月)、16日(金) | 6月12日: 7202教室 6月16日: 中庭 (緑園キャンパス) | 学生課主催 公認団体・学内学内活動団体入部希望者向け説明会「セカンドチャンス」に参加 6月12日(月): 朗読チーム 2名 6月16日(金): 学生メンバー 2名 |
| POPコンテスト 作品展示 | 6月16日(金)～10月30日(月) | | POPコンテストに応募された作品13点および図書の展示 |
| ランチDE文学散歩 | 6月26日(月)～30日(金) | 学生食堂 (緑園キャンパス) | 読プロとFLC(フェリス・ランチ・コミッティー)による学生食堂メニューの企画 【実施メニュー】 年間テーマ「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」にちなんで、現代女性作家の本や漫画に出てくるレシピを再現。 ①豚丼(『銀の匙』マンガ 荒川弘) ②ピーマンとくるみとごまの和え物(『植物図鑑』有川浩) ③日替わり味噌汁 ワカメの味噌汁、大根の味噌汁(『星々たち』桜木紫乃) かき玉汁(『あつあつを召し上げれ』小川糸) ④ひんやり心太(『みをつくし料理帖』高田郁) |

| イベント名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|-----------------------------------|-------------------------|---|---|
| 文学散歩 | 8月22日(火) | 神奈川近代文学館 | 神奈川近代文学館「角野栄子『魔女の宅急便』展」を見学 |
| 選書ツアー | 8月22日(火) | 有隣堂 伊勢佐木町本店 | 「今フェリス生が読みたい本」をコンセプトに学生メンバーが103点を選書 |
| 他大学図書館訪問 | 9月6日(水) | 帝京大学八王子 キャンパス図書館 (メディアライブラ リーセンター) | 帝京大学八王子キャンパス図書館(メディアライブラリーセンター)見学およびサポーター学生との懇談 |
| 小学校朗読披露 | 9月19日(火) | 緑園東小学校 | 近隣の小学校で全校児童に朗読を披露 【朗読】:読書運動プロジェクト朗読チーム、朗読チームOG「すずの音」 鈴木珠友・山田優香・小野紘子・平山真由子・穂積優香・三雲紫恩(本学学生) OG朗読グループ「すずの音」4名 【演目】 朗読チーム:「となりのトトロ」スタジオジブリ すずの音:「100万回生きたねこ」佐野洋子 【演出・指導】鈴木千秋先生(本学朗読講師) |
| 「選書ツアーに行ってきました!~今フェリス生が一番読みたい本」展示 | 9月20日(水)~12月21日(木) | 附属図書館本館 展示コーナー (緑園キャンパス) | 8月に行った選書ツアーで購入した図書103点の展示 |
| 読み聞かせ実習(前期) | 9月21日(木) | 緑園東小学校 | 読み聞かせレッスンの成果を、近隣小学校の朝読書の時間で披露する。 |
| 展示・クイズ | 11月3日(金・祝) ~11月4日(土) | 附属図書館本館 エントランスホール (緑園キャンパス) | 大学祭企画 「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」展示、クイズ |
| ワークショップ | 11月3日(金・祝) ~11月4日(土) | 附属図書館本館 2階閲覧席 (緑園キャンパス) | 大学祭企画 ・Myしおりを作っちゃおう! |
| 朗読会 | 11月3日(金・祝) | 附属図書館本館 教員・院生閲覧室 (緑園キャンパス) | 大学祭企画 朗読チームによる朗読発表 【朗読】:読書運動プロジェクト朗読チーム 鈴木珠友・阿部美彩・山田優香・小野紘子・平山真由子・穂積優香・三雲紫恩 【演目】 あまんきみこ「白いぼうし」、伊勢英子『マキちゃんの絵につき』より「さびしいマキちゃん」「雨、まだふってる」、喜多南「一年後の夏」、松田青子「少年という名前のメカ」、角田光代「旅する本」 【演出・指導】鈴木千秋先生(本学朗読講師) |

| イベント名 | 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|--|--------------------------------------|--|---|
| 読み聞かせレッスン(後期) | 11月21日、28日、12月5日、1月9日、1月16日 全て火曜日 | 附属図書館本館 グループ学習室① (緑園キャンパス) | 絵本とは何か、読み聞かせの方法、絵本の種類などの理解を深め、読み聞かせの実践までを専門家に学ぶ。 【講師】 永井雅子(本学非常勤講師) 藤本朝巳先生(本学文学部教授・図書館長) |
| 音読指導・アドバイス | 11月28日(火) | 緑園東小学校 | 朗読チームの学生とOGすずの音のメンバーが近隣の小学校に出向き、1年生に音読の指導やアドバイスを行う。 朗読チーム: 山田優香 すずの音: 瀬戸口文嘉 |
| 第2回読書会 | 12月14日(木)、20日(水) | 附属図書館本館 読プロミーティング ルーム (緑園キャンパス) | 【テーマ】:『蜜蜂と遠雷』(恩田陸著)を読んで感想を語ろう |
| 読プロ×Ferris Photo Club(写真部)コラボ展示 | 12月15日(金)～1月29日(月) | 附属図書館本館 展示コーナー (緑園キャンパス) | 【テーマ】: LOVE 読プロメンバー8名が選んだお気に入りの小説のワンシーンをイメージし、Ferris Photo Club(写真部)が写真を撮り、本8冊とともに展示 |
| 第2回朗読会 「わたしの、ものがたり。 ～現代女性作家のまなざし～」 | 2月12日(月・祝) | 神奈川近代文学館 | 朗読チームによる朗読発表 【朗読】: 読書運動プロジェクト朗読チーム、OG朗読グループ「すずの音」 阿部果鈴・阿部美彩・小野紘子・鈴木珠友・平山真由子・穂積優香・三雲紫恩・山田優香(本学学生) 石塚千紘・石渡詩乃美・瀬戸口文嘉・出井奏・中島友紀・中村容子・堀悠子(OG朗読グループ「すずの音」) 【演目】: 朗読チーム 『Presents』より「名前」角田光代 『夕暮れのマグノリア』より「マーブルクッキー」安東みきえ すずの音 『活版印刷三日月堂』より「ちょうちょうの朗読会」ほしおさなえ 【演出・指導】: 鈴木千秋先生(本学朗読講師) |
| 読み聞かせ実習(後期) | 2月14日(水) | 緑園東小学校 | 読み聞かせレッスンの成果を、近隣小学校の朝読書の時間で披露する。 |

■コンクール

| タイトル | 応募内容 | 応募資格 | 応募期間 | 結果 |
|--------------|--|--------|-----------------------|--|
| 第10回POPコンテスト | ・図書館の蔵書に自作POPを作成し、紹介する。 | ・フェリス生 | 4月24日(月)～ 5月26日(金) | <p>【応募資格】学生 院生 科目等履修生 【応募期間】4月24日(月)～5月26日(金) 【応募数】13作品 【展示期間】6月16日(金)～10月30日(月) 【展示場所】緑園図書館2階展示コーナー 【選考結果(※上位入賞者のみ記載)】</p> <p>大賞(ベストPOP賞) 『ヴァン・ショーをあなたに』(近藤史恵 著) 中村 好花 (英語英米文学科 2年)</p> <p>読んでみたい!と思わせるで賞(入賞) 『四畳半神話大系』(森見登美彦 著) 伊豆 美保 (音楽芸術学科 3年)</p> <p>瞳に引き込まれるで賞(入賞) 『獣の奏者』(上橋菜穂子 著) 石垣 茜 (日本語日本文学科 2年)</p> <p>優しい雰囲気伝わるで賞(入賞) 『パリで待ち合わせ』(デボラ・マッキンリー 著) 小根山 桃子 (日本語日本文学科 3年)</p> <p>他、応募賞9作品</p> |
| 第13回創作コンクール | <p>【募集ジャンル】: ①詩 ②戯曲 ③小説</p> <p>・上位入賞作品は製本し、附属図書館の蔵書として保存。</p> | ・フェリス生 | 5月22日(月)～ 10月5日(木) | <p>【応募資格】学生 院生 科目等履修生 【応募期間】5月22日(月)～10月5日(木) 【応募数】14作品〔詩(6)・戯曲(2)・小説(6)〕 【結果発表・授賞式】2018年1月17日(水) 【選考結果(※上位入賞者のみ記載)】</p> <p>■詩部門 上位入賞者該当なし</p> <p>■戯曲部門 第2席「天使」 高橋 貴実子 (日本語日本文学科2年)</p> <p>第2席「カリギュラの心臓」 池 茉莉 (日本語日本文学科3年)</p> <p>■小説部門 第3席「鱗」 下地 香名芽 (日本語日本文学科2年)</p> <p>第3席「夏暁(なつあけ)の泡沫に帰す」 福島 美穂 (日本語日本文学科4年)</p> <p>他、応募賞10作品</p> |

■関連科目

| 科目名 | 講義題目 | 履修年次 | 担当者 | 形態 | 単位 | 内容(主題・目標等) |
|---------------------------------------|--------------------------|------|----------------------|----|----|--|
| 今年の一冊(14) (A Book for This Year) | さまざまな分野で活躍する現代女性作家たち | 1234 | コーディネーター: 藤本 朝巳先生 | 講義 | 前期 | <p>〔複数教員によるコラボレート授業〕</p> <p>この授業では、芸術(創作)・報道などの仕事をしている女性作家たちとその作品について、専門分野の異なる各担当者が独自の視点や方法で語ります。</p> |
| 読書とメディア(9) (Reading and the Media) | 編集視点から俯瞰し、理解するメディアとコンテンツ | 1234 | 森 亨先生 | 講義 | 後期 | <p>“あなたの人生を”編集”してみよう。 人生をもっと楽しく、豊かにするためのスキル、それが編集力。</p> <p>みなさんは、人類の歴史が始まって以来、もっともテキストを読み、もっともテキストを書き、もっとも写真を撮り、もっとも写真を見て、もっとも動画を撮り、もっとも動画を見ている人間です。</p> <p>というのも現代は、LINE、Instagram、Facebook、Twitter、ブログなど誰もが各種のメディアを持つことができる時代だからです。作家でなくてもテキストを書き、写真家でなくても写真を撮り、映画監督でなくても動画を撮影し、それらをシェアできる。そして、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、本などのメディアを内包するものとしてウェブがあり、それらで毎日テキストを読み、写真を目にしています。</p> <p>Instagramにポストするとき、LINEで友達にメッセージを送るとき、ブログを書くとき、レポートを書くとき、思い出してみてください。</p> <p>みなさんはどの写真を使うか、どんな言葉遣いでどんな文章を書くか、どんなデザインにするか、どんな色を使うか、どんなハッシュタグを使うか、そしてそれらの組み合わせを常に考えています。つまり、これは広義の意味での“編集”をしていることにほかなりません。</p> <p>情報を収集し、まとめ、アウトプットするというスキルは、かつてはマスメディアに属する人のための、ないしはメディアを志望する人の特別なものでした。しかし、その編集力は、今、現代人の誰もが必要な能力になったといえるでしょう。</p> <p>ならば、そんな“編集”の力をより身につけることができれば、人生がより豊かなものになるのではないのでしょうか？</p> <p>広義の編集力・編集視点は、学校生活での卒業論文、就活のエントリーシート、社会人生活での企画書など、どの場面においても現代人にとって必須の能力といえるでしょう。</p> <p>本講義においては、この編集力を学び、そして活かす術を身に付けてもらいたいと思います。そして、これらを身に付けることで、コミュニケーションを多面的に考察する力と、メディアリテラシーを身に付けてもらいたいと願っています。卒論、エントリーシート、プライベートでのInstagramにブログ……そういったことに直接的にプラスになる学びがあると、これまで受講した学生から感想をもらっています。</p> <p>さらに、人と人、メディアと人、人とモノ……情報のやりとりが生じる現象はすべてコミュニケーションと捉えることができます。コミュニケーションを担う媒体こそがすなわちメディアです。よって、この講義はメディアというものを学ぶための総合的な知識とリテラシーを身に付けることで、人間力を高めることを目的としています。</p> <p>そのためにコミュニケーションやメディアの特性の違い、読むということ、書くということを経験と理論と、そして講師の20年弱にわたる雑誌編集者およびPR、ブランディング会社経営の経験、現在事業会社でコラボレート戦略/PR/ブランディングを行っている講師の実践をベースに学んでいきます。</p> |

◆ はじめに ◆

フェリス女学院大学附属図書館 館長 藤本朝巳

大学図書館は、ルーティンとしての図書館業務を大切にしていますが、他にもさまざまな機能を果たすことが期待されています。フェリスの図書館も期待に応えるべく、学生の学修支援などに積極的に取り組んでいます。例えば、毎年ラーニング・コモンズの機能を備えたグループ学習室が授業、課外活動などによく活用されています。今や本学の図書館は多目的学習の場へと変わりつつあります。例えば、新入生向けには図書館利用や資料検索の説明、またパソコン使用の導入教育、さらに上級生向けに論文執筆支援などを情報センターと協力して毎年行っています。

本学図書館は、2002 年度から「読書運動プロジェクト（読プロ）」に活発に取り組み、毎年、豊かな実りを結んでいます。この活動では、学生たちが主体的にテーマを決め、それに沿って数回の読書会を開くだけでなく、文学ゆかりの地訪問、選書ツアー（今年度は「今フェリス生が読みたい本」をコンセプトに学生メンバーが 103 点を選書）、「私のオススメ本（現代女性作家の作品）」の紹介・展示、他大学の図書館訪問と交流など、ユニークな企画を立てて実践しています。

今年の読プロのテーマは「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」でした。前期読書運動科目「今年の一冊」では図書館長が中心となっており、5 名の専任教員と外部講師 3 名で、絵本、小説、物語を紹介し、また現代社会が抱える諸問題を複眼的な視点で学びました。さらに関連資料（現代女性作家の作品・資料など）の展示も重ねました。読プロと FLC（フェリス・ランチ・コミッティー）による学生食堂メニューの企画として、年間テーマにちなんで、現代女性作家の本や漫画に出てくるレシピを再現したことは楽しい催しでした。

11 月の大学祭では、学生はもとより近隣の方にも多数ご来場いただき、図書館の入館者は 2 日間で 1240 人を超えました。大学祭では、「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」展示、クイズ、朗読会、ワークショップ（「しおりの製作体験」168 名参加）などを実施しました。

毎年行っている、夏の女子高校生への図書館開放にはのべ 198 名の利用があり、地域貢献の役割も果たしています。

読プロでは、今年も朗読チームの学生と OG すずの音のメンバーが近隣の小学校に出向き、全校児童に朗読を披露、1 年生に音読の指導やアドバイスをし、神奈川近代文学館での朗読発表会を実施しました。「読み聞かせレッスン」では、読み聞かせに適した絵本の選び方から、手遊び歌・わらべ歌、読み聞かせの実践までを専門家に学び、その成果を、近隣小学校の朝読書の時間や泉区区役所主催の「読書推進活動」の場で披露しました。

今年も創作コンクール（小説・詩・戯曲）に 14 作もの優秀な作品の応募があり、戯曲部門では 2 作品が第 2 席を受賞しました。年を追うごとに、作品の質が上がっていると思います。

なお、図書館には学修支援のさらなる充実など大きな課題があり、社会の変化に対応できるよう努力しております。また、増え続ける図書の設定空間も確保しなければなりません。皆様のご理解、ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 読書会 ◆

| | | |
|-----|------------------------|----------------------------------|
| 第1回 | 5月25日(木) | 【テーマ】 私のオススメ本 |
| 第2回 | 12月14日(木) 12月20日(水) | 【テーマ】 『蜜蜂と遠雷』(恩田陸著)を読んで感想を語ろう |

◇ 第1回読書会 ◇

報告 日本語日本文学科1年 三雲紫恩



ポスター作成：読プロメンバー

私が読書運動プロジェクトの一員になってから、最初にあったイベントは5月25日（木）に行われた第1回読書会でした。読書会とは自分のおすすめの本を持ち寄って紹介、さまざまなジャンルの本を知ることが出来る会です。今回は特にテーマを設定せず自分たちのお気に入りの本への思いを語り合いました。

第1回の読書会で紹介された本は、『ジョーカー・ゲーム』（柳広司）、『パンとスープと猫日和』（群ようこ）、『本日は、お日柄もよく』（原田マハ）、『本屋さんのダイアナ』（柚木麻子）、『紅茶と薔薇の日々』（森茉莉）、『カブキブ!』（榎田ユウリ）、『ななつのこ』（加納朋子）、『パリで待ち合わせ』（デボラ・マッキンリー）の8冊でした。初めて

の参加だったこともあり、とても緊張していましたが皆さんが相槌を打ってくださったり、微笑みながらお話を聞いてくださっていたので安心して発表することができました。普段自分が読んだことが無い本について知ることができ、とても良い機会だったと思います。今後は新しいジャンルや、今まで読んだことが無い作家さんの本も挑戦したいと強く感じました。

幼いころから本が好きだった私は、偶然大学の図書館で「読書運動プロジェクト」の存在を知り、担当の森園さんにお会いし、メンバーになりました。今は一員になり本当に良かったと思っています。今後の活動も楽しみです。



緊張したけど楽しかったです！
先輩たちの優しい雰囲気
に安心して
発表できました♡

◇ 第2回読書会 ◇

報告 国際交流学科 4 年 有馬梨咲

12月に行われた第2回読書会のテーマは恩田陸著の『蜜蜂と遠雷』で、2回に分けて行いました。メンバー全員が同じ本を読み感想などを言い合う読書会は2014年の『桐島部活やめるってよ』をテーマにした時以来でした。

今回の『蜜蜂と遠雷』は500ページ且つ2段組ととても量が多く読書会までに読むことができなかったメンバーもありました。しかし読み終わったメンバーでおすすめのキャラクターやシーンを発表することができたので良かったと思いました。

『蜜蜂と遠雷』はピアノコンクールに関する話で、またこの本の中に出てくる音楽がCDにもなっているためそのCDを流しながら行ったのでとても和やかな雰囲気を感じました。この本は、量が多いですが読みやすいため「ここがよくわからない」というのがないのが大きなポイントだと感じましたが、専門知識を少しでも持っているのと更に楽しめると感じました。それが読書会のまとめです。気を付ける点としては最後のページには結果発表があるため最後まで見ないようにすることだと思います。それを念頭に入れて読むことをオススメします。



ポスター作成: 読プロメンバー



「ここが良かった!」「あのシーンが印象的」



みんなの意見が聞けて面白かったです!

◆ コンテスト・コンクール ◆

報告 図書館 森園佳子

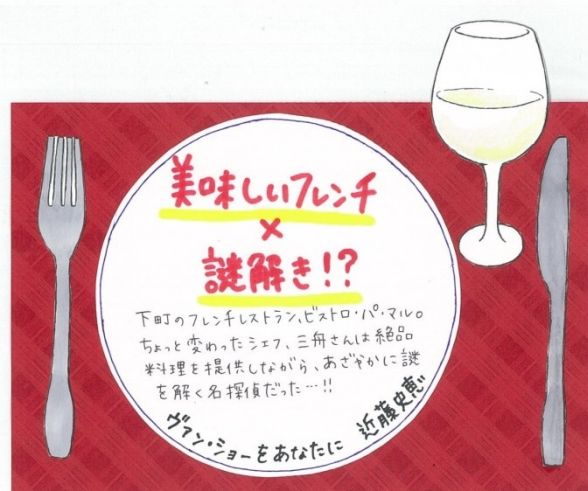
◇ POPコンテスト ◇

今年度の応募はやや少なめの13作品でしたが、オリジナリティあふれる作品が寄せられました。その中で、まるでフレンチ・レストランのテーブルに着いているかのように思わせるPOP『ヴァン・ショーをあなたに』（近藤史恵著）を描いた中村好花さん（英語英米文学科2年）が、他の作品を押さえてみごとベストPOP賞（大賞）に輝きました。中村さんは昨年度に続く、2回目のベストPOP賞の受賞です。

また、『四畳半神話大系』（森見登美彦著）の伊豆美保さん（音楽芸術学科3年）、『獣の奏者』（上橋菜穂子著）の石垣茜さん（日本語日本文学科2年）、『パリで待ち合わせ』（デボラ・マッキンリー著）小根山桃子さん（日本語日本文学科3年）の3作品がそれぞれ入賞を果たしました。



ポスター作成：図書館



POP コンテスト入賞の3作品



◇ 創作コンクール ◇



ポスター作成：図書館

今年度の創作コンクールには詩部門6作品・戯曲部門2作品・小説部門6作品の全14作品が寄せられました。厳正な審査の結果、第1席には該当作品がありませんでしたが、戯曲部門に応募された日本語日文学科3年の池茉莉さんの「カリギュラの心臓」と、同じく戯曲部門の日本語日文学科2年の高橋貴実子さんの「天使」が、高い評価を受けて第2席に輝きました。池さんの「カリギュラ

の心臓」は、恐怖政治に敷かれた架空の国を舞台に人間の心の闇と葛藤を描いた力作で、これを役者が演じているところを観てみたいと思わせる優れた戯曲でした。作者の池さんは1年生のときにも小説部門で入賞した文才のある方なので、今後の創作にも大いに期待します。一方、高橋さんの「天使」は、アンドロイドと人間が共存する近未来を描いた秀作です。こちらは切なくも心が温まる物語に仕上がっており、テレビドラマかショート・ムービーで上映するのも良さそうです。

お二人の作品は、創作コンクール第2席以上の優秀作品を収録する作品集として製本

され、本人に贈呈するとともに図書館の蔵書として永久保存されます。

小説部門からは、日本語日本文学科 4 年のペンネーム^{そらいよしや}宙井美弥さんの「夏暁^{なつあけ}の泡沫に帰す」と、日本語日本文学科 2 年の下地香名芽さんの「鱗」の 2 作品が、第 3 席に選ばれました。宙井さんと下地さんも昨年度の創作コンクールで優秀な成績を収めた方々なので、今後もさらに創作力に磨きをかけていただきたいと思います。



過去の作品集

受賞おめでとうございます



創作コンクール授賞式

◆ 展示 ◆

| 展示名 | 開催期間 | 内容 |
|--|--------------------|--|
| さまざまな分野で活躍する現代女性作家 | 4月1日(土)～3月26日(月) | 年間テーマ関連の資料60点を展示 |
| POPコンテスト作品展示 | 6月16日(金)～10月30日(月) | POPコンテストに応募された作品13点および図書の展示 |
| 選書ツアーに行ってきました！～今フェリス生が一番読みたい本 | 9月20日(水)～12月21日(木) | 8月に行った選書ツアーで購入した図書103点の展示 |
| 読プロ×Ferris Photo Club(写真部)コラボ テーマ「LOVE」 | 12月14日(木)～1月30日(火) | 読プロメンバーが選んだお気に入りの小説のワンシーンをイメージし、Ferris Photo Club(写真部)が写真を撮り、本とともに展示 |

◇ さまざまな分野で活躍する現代女性作家 ◇



テーマ展示 「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」

◇ POP コンテスト作品展示 ◇



◇ 選書ツアーに行ってきました！～今フェリス生が一番読みたい本 展示 ◇



◇ 読プロ×Ferris Photo Club (写真部) コラボ展示 テーマ「LOVE」 ◇



◇ 展示 ◇

報告 図書館 山下萌

今年度の読プロ年間テーマは、「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」です。

学生が身近に感じられるような現代女性作家の作品を、「小説」「海外作品」「ノンフィクション」「絵本」「エッセイ」「作家&劇作家」「詩人」「マンガ」の8つのジャンルに分け、年間テーマである「さまざまな」の言葉に相応しいよう多方面から選書し、展示しました。

貸出数が多かったのは「小説」のジャンルでした。「小説」は推理系・恋愛系・ファンタジー・ライトノベル・ホラー系などを選書し、映画化されたDVDなどと共に展示しました。三浦しをん、吉本ばなな、西加奈子などの著名な作者の作品を数多く展示する中、学生人気が高かったのは有川浩や湊かなえの作品で、共に展示したDVD もよく視聴されました。

また本学卒業生の吉野万里子さんの作品も展示し、先輩の功績を手取る学生の目は輝いていました。



DVD はいつも人気でした！



今年の受賞者も個性溢れる作品でした！



前期に毎年行われる「POP コンテスト」の展示では、13 作品のPOP と図書を展示しました。今年も力作が揃い、切り張りをして視覚的に目を惹く作品、色彩豊かな絵で勝負する作品、興味を惹く言葉で勝負する作品、本の世界観を表現する作品など、個性豊かな作品が多く集まりました。どれも目を惹く POP のため、足を止めてPOP と本を交互に見る利用者を多く見かけ、貸出回数も伸びました。自分では気づきにくい、図書館に所蔵している本を知る機会の場の一つなので、ぜひこれからも続けていきたい展示です。



後期には、毎年夏休みに行われている、学生たちが大型書店を訪れて図書館に入れたい本を自分の手で選ぶ「選書ツアー」の展示を行いました。今年是有隣堂伊勢佐木町本店で、読プロメンバー6名と図書館職員2名が103冊を選び、各自がPOPを作成して図書と一緒に展示しました。小説やエッセイをはじめレシピ本や写真集、自己啓発本などさまざまなジャンルの図書が集まり、とても華やかな展示となりました。選書されたジャンルも今フェリス生が読みたい本にぴったりと合ったのか、POPの効果も相まって常に貸出状態の人気の本も多く、展示コーナーがガラガラという好評な展示となりました。



読プロ×Ferris Photo Club (写真部) コラボ展示は、学生からの申し出があり実現した新しい企画展示です。「LOVE」をテーマに読プロの学生がお気に入りの小説のワンシーンを選び、Ferris Photo Clubの学生がそのシーンをイメージした写真を撮影して図書と共に展示しました。展示の準備なども全て学生が主体となってい、それぞれのシーンの世界観を表現するような小さな「自分だけの本棚」を各自で作成しました。小道具を使った個性溢れる作品が並び、学生たちのセンスが光る展示となりました。他の団体とのコラボ展示は初めてでしたが、お互いの団体の良さが上手く調和する展示となりましたので次年度以降も継続できたらと思います。

◆ コラボランチ ◆

◇ ランチ de 文学散歩（～スタミナたっぷり豚丼～）◇

報告 日本語日本文学科3年 小根山桃子

／読書運動プロジェクト×FLC／ 学生考案メニュー第4弾

ランチde文学散歩

～スタミナたっぷり豚丼～



メニュー 450円

- ★豚丼(醤油だれ)・・・荒川弘『銀の匙』
- ★ピーマンとクルミとゴマの和え物・・・有川浩『植物図鑑』
- ★お味噌汁・・・桜木柴乃『星々たち』
- 小川糸『あつあつを召し上がれ』
- ★ひんやり心太・・・高田郁『みをつくし料理帖』

提供時間
11時30分～14時

提供期間
6月26日(月)～
6月30日(金)

読書運動プロジェクト

- ★学内公認団体。読書運動推進団体。
- ★今期は、「現代女性作家」をテーマに
毎週木曜日お昼に図書館にて活動中
- ★今回はFLCとコラボし、女性作家の作品
からメニューを選びました。

※メニュー内容が仕入れの都合上一部変更となる場合があります

Twitter
flc_pr
@flc_pr

ポスター作成：FLC

私がコラボランチ企画に携わるのは今回で3度目でしたが、今まで同様今回も非常に充実した満足のいく結果だったと思います。来年もまた FLCさんと一緒にコラボランチ企画ができればと思っています。1年間ありがとうございました。



読ブロメンバー手作りのPOPを飾り宣伝



とても美味しく、メンバーも大満足でした！

◆ 選書ツアー ◆

報告 英語英米文学科 2 年 中村好花

今年の選書ツアーは文学散歩とセットで同じ日に行ったので、文学散歩の午後を選書を行う書店に向かいました。今回お世話になったのは、関内駅から歩いて約 3 分の場所にある有隣堂伊勢佐木町本店さんです。地下から地上 6 階まである大きな書店で、文庫などの小説はもちろん、専門書や文房具までさまざまなものが並んでおり、本好きな私たち読プロメンバーにとっては非常にわくわくする空間でした。

私たちメンバーは「今フェリス生が読みたい本」をコンセプトに、思い思いに気になった本を手に取りながら選んでいきました。以前読んだことがあって大学において欲しい本や、その場で気になった本など、図書館を利用する方たちに読みたいと思ってもらえるような本を熱心に探しました。選書の際には漫画・雑誌以外の書物であれば何でも選べるので、小説はもちろん、料理や裁縫の本、動物の写真集など幅広いジャンルの本を選ぶことができました。

本を選ぶ楽しみの他にも、メンバー同士で選んだ本を見せ合うことでお互いの好きな本のジャンルを知ることができて、良い交流の場になったと思います。私たちメンバーが選書した 103 点の本は、図書館で頻繁に貸し出されていて、とても嬉しく思います。来年度も良い選書が出来るように頑張りたいと思います。



真剣に選んでいます



沢山本があるので悩んじゃう！嬉しい悩みです



私たちが選書しました！
沢山読んでもらえたら
嬉しいです♪

◆ 文学散歩 ◆

◇ 神奈川近代文学館 企画展示「角野栄子『魔女の宅急便』展」◇

報告 音楽芸術学科3年 伊豆美保

今年度は、神奈川近代文学館で開かれた「角野栄子『魔女の宅急便』展」に行ってきました。展示会場の入り口には大きなキキのパネルが立っており、キキと一緒に写真が撮れるようになっていたのでメンバーで記念撮影しました！

『魔女の宅急便』というとジブリ映画も有名だと思います。私もそちらは見たことがあったのですが、原作は読んでことがなく…。今回の『魔女の宅急便』展を一通り見て、原作の少しだけしかジブリ映画では描かれていないことを知りました。キキが大人になってからの話やトンボとの恋の話など知らないエピソードばかりで夢中になって展示を見ました。展示の一部には、『魔女の宅急便』を執筆するにあたって作者の角野さんが集めた魔女についての情報や魔女の人形が飾られているところもありました。人形はかわいいものから不気味なものまであって、角野さんのお気に入りだという一体は目力が強くて顔が怖かったです…。けれどほとんどの展示スペースはかわいい挿絵ばかりなので癒されました！

今回の展示は、他にも『魔女の宅急便』以外の児童書やご本人の経歴も紹介されていました。作品を見ていると、角野さんの楽しいこと好きでとても優しい人柄を感じられて、見に来たこちらの心も優しくなれる展示会だったと思います。



展示会場の入り口で
キキと記念撮影♪
みんなで展示クイズに
も挑戦しました！

お昼はお洒落なお店で
ランチ♡
見てきた展示の話題で
盛り上がりました！



◆ 他大学図書館訪問 ◆

◇ 帝京大学八王子キャンパス図書館（メディアライブラリーセンター）◇

報告 英語英米文学科1年 津田優里香

私が読書運動プロジェクトに入ってから、もうすぐ1年が経とうとしています。この1年間は、本好きにはたまらない活動が盛りだくさんで充実したものになりました。その中でも特に帝京大学共読サポーターズの方たちとの交流は印象に残るものでした。交流する前から帝京大学さんの図書館の写真は拝見しておりましたが、実際に図書館に足を踏み入れるとそのスケールの大きさに圧倒されました。まず、入館ゲートを通してすぐ目に飛び込んでくるのは、黒板で作られた本棚です。そこにはテーマごとに分けられた本が展示され、本棚の縁や側面には共読サポーターズの方の紹介文がチョークで書かれており、とてもお洒落な空間が広がっていました。さらに奥に進むと、キールームと呼ばれる本の展示ブースがあり、ここではマグネットやカラフルなボックスを使って本の紹介がされていました。通常の本棚とは違い、本の置き方はさまざまで本一冊一冊が主役のような展示ブースでした。どの展示も、「この本を読んでみたい！」という気持ちを駆り立てる素敵なもので、フェリスの図書館にも取り入れてみたいと思いました。



みんな興味津々で図書館を見学しています♪



共読サポーターズのみなさんと意見交換もしました！



◆ 大学祭 ◆

| | | |
|---------|-------------------------|---|
| 展示 | 11月3日(金・祝) ～11月4日(土) | 大学祭企画 年間テーマに関する展示 |
| クイズ | 11月3日(金・祝) ～11月4日(土) | 年間テーマに関する展示からのクイズ (正解者には読プロオリジナルグッズ 【しおり or メモ帳】をプレゼント) |
| ワークショップ | 11月3日(金・祝) ～11月4日(土) | 大学祭企画 「My しおりを作っちゃおう！」 |
| 朗読会 | 11月3日(金・祝) | 朗読会の項(p.21～23)参照 |

Ferris Festival
図書館
へ行こう！

さまざまな分野で活躍する現代女性作家
をテーマにした展示を行っています！

展示
クイズ
全問正解者にはプレゼントがあるよ！
テーマ展示クイズ
11月3日(金) 4日(土) 11:00～17:00
世界に1つだけ！
MYしおり作り
11月3日(金) 4日(土) 13:30～15:00

ワークショップ
読書の秋。
耳から文学作品を楽しんでみませんか？
朗読会
11月3日(金) 13:30～15:30

★ 演目
「白いぼうし」 あまんきみこ
「となりのトトロ」 中川李枝子
「でんぢんの絵につき」 伊勢英子
「一年後の夏」 喜多南 ほか

主催 フェリス女学院大学附属図書館読書運動プロジェクト
お問い合わせ先 フェリス女学院大学附属図書館 TEL 045-812-6999 / MAIL: library@ferris.ac.jp

2017.11.3(fri)11.4(sat)
図書館へ行こう！

1 テーマ展示「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」
& クイズ
クイズの全問正解者には
素敵なプレゼントを差し上げます！
場所：図書館 階 エントランスホール
日時： 月 日 金 日 土 : -

2 ワークショップ「Myしおり作り」
お洒落なティールック型・アニマル型など
さまざまな種類を用意しています！ (所要時間 分)
場所：図書館 階 閲覧席
日時： 月 日 金 日 土 : -

3 読書運動プロジェクト朗読チーム主催 朗読会
【演目】(順不同)
「白いぼうし」 あまんきみこ
「となりのトトロ」 中川李枝子
「マキちゃんの絵につき」 伊勢英子 他
場所：図書館 階 教員・院生閲覧室
日時： 月 日 金 : - (終了予定 : 入退場自由)
図書館のイベントはすべて無料です！ぜひ遊びに来てね
読プロキャラクター リプロ

ポスター・チラシ・オリジナルグッズ作成：図書館



◇ 大学祭の展示 ◇

報告 英語英米文学科1年 本釜菜津子

大学祭では、2017年度読書運動プロジェクトのテーマでもある「さまざまな分野で活躍する現代女性作家」をテーマに読プロのメンバーが1人ずつ模造紙に書き展示を行いました。読プロメンバーが好きな作家さんの世界をそれぞれの表現で表していてとても素敵でした。当日は小さい子からお年寄りの方まで幅広い世代の方が展示を見てくださいました。



パネル展示のようす



クイズの答えはどこだ？



クイズできました！あってるかな？

また、展示の中にはクイズが盛り込まれており沢山の方がクイズに参加してくださいました。このクイズは例年行われていましたが前年度は開催ができませんでした。楽しみにしていたお子さんからの問い合わせなどもあり今回はクイズを行う事ができました。

クイズの景品として、フェリス女学院大学読プロの公式キャラクターのリプロくんが描かれたしおりとメモ帳を用意しました。比較的、しおりが人気だったように思います。

大学祭準備や片付けなど、他の活動で忙しいメンバーもいましたが、うまく役割分担をしてスムーズに行えました。次の大学祭につなげられるようにしたいです。



◇ ワークショップ しおり作り ◇

報告 音楽芸術学科3年 林陽子



台紙やシールを選ぼう！真剣に選んでいます

今年度の大学祭ワークショップは、昨年度と同様でしおり作りを行いました。

しおり作りは2パターン作れるものを用意し、どちらを作るかお客様に選んで作成してもらいました。1つは作り方が決まっているタイプで、ティーパック型のしおり。もう1つは自由なタイプで、様々な形をしている紙から好きな形を選び、自分でシールや絵を描いたりして完成させるしおりでした。

昨年度とほぼ一緒ですが、2パターンとも少しだけ違うところがあります。まずティーパック型のしおりですが、選べる柄が増えました。さらに、ティーパックの取手の紙部分が外れてしまわないよう、補強テープが追加されました。そして自由なタイプのしおりですが、選べる形が増えました。しおりの形は、学生メンバーが思い思いに切っています。今年度は学生メンバー数が増えたため、イルカや月、猫などさまざまな形が集まりました。

またお客様が増えるよう工夫もしました。外からしおり作りの風景が見えるようになっていますが、通りすがりの人たちがなんとなくこのワークショップを見ながら通り過ぎていました。そのため、しおり作りに興味を持ってもらおうと2日目には窓にしおりの見本を貼りました。結果、足を止めてしおりに注目してくれる方が増えました。

しおり作りは2日間、1日あたり約2時間という短い時間でのワークショップでしたが、2日間で合計168名のお客様に参加していただきました。大人の方から小さなお子さんまで、たくさんの方に楽しく作ってもらえて嬉しい限りです。



ティーパック型しおり完成版



メンバーお手製のしおり台紙

◆ 読み聞かせレッスン ◆

報告 図書館 森園佳子



前期のようす

今年度の読み聞かせレッスンは前期に 8 回、後期に 6 回実施しました。

講師は一昨年度、昨年度に続き、菊地彰子先生（前期）と永井雅子先生（後期）をお招きしました。読み聞かせや手遊びの指導者である菊地先生のレッスンは、毎回、日本のわらべ歌の手遊びで始まります。となりの人と向かい合って相手をくすぐる手遊び歌では、笑い声が上がり雰囲気が一気にほぐれます。

その後、一人ひとりが自分の好きな絵本を全員の前で読み、絵本の持ち方、声の出し方などていねいに指導を受けると、レッスンを重ねるにつれ、学生たちの読み聞かせはみるみる上達していきました。

また、本学の非常勤講師でもある児童英語教育の専門家の永井先生からは、英語の絵本を読む場合のポイントなども教わり、さっそくチャレンジした学生もいました。

今年度もレッスンの区切りの 9 月と 2 月に、近隣の緑園東小学校の朝読書の時間に訪問し、児童を前に実習をさせていただきました。昨年度から継続してレッスンに参加している学生は、小学校での実習を以前にも経験していましたが、今回の実習後の振り返りの場で、「低学年と高学年では反応が異なって戸惑ったが、非常に勉強になった」という感想を述べ、読み聞かせの奥の深さを実感したようです。せっかく身につけた技術を忘れないよう、これからも練習を重ねていってほしいと思います。



後期のようす



小学校での読み聞かせ

◆ 小学校朗読会 ◆

| | |
|----------|--|
| 9月19日（火） | 演目： 朗読チーム：「となりのトトロ」スタジオジブリ すずの音：「100万回生きたねこ」佐野洋子 |
|----------|--|

◇ 小学校朗読発表会 ◇

報告 日本語日本文学科2年 小野紘子

2度目の小学校全校児童の前での朗読会でした。緊張はあまり感じませんでしたが、普段通りの読みを発揮できなかったように感じており、消化不良の様な気持ちが残っていることが少し悔しくあります。

「となりのトトロ」の詩を読んだのは初めてでしたが、映画だけでは拾いきれない、サツキやメイという子どもだからこそ抱ける細かな心情の描写がとても素敵な作品だと思います。また、「歌を歌う」という初めての試みでしたが、喜んでもらえ且一緒に歌ってくれたので、朗読チーム皆で練習をした甲斐がありました。その後の時間で行った児童への朗読指導も含め、今後もぜひ、小学生の皆さんと関わられるような企画を探っていけたらよりお互い楽しめると思います。

「すずの音」の皆さんが読まれた「100万回生きたねこ」はタイトルしか知らなかった作品なので、ワクワクした気分で聞いていました。私はまだまだ大人と言える年齢ではないですが、作品に対して小学生ならではのリアクションや疑問をもった点など共感もありつつも、非常に驚きや新鮮さを感じられたと思います。彼らのそのような感情を引き出し、世界観に引き込ませる演技力や台詞と地の文の読み分けなど、たくさん勉強させていただきました。



みんな大好きな「となりのトトロ」



朗読後、「小学生のみんなも朗読してみよう！」

◇ 小学校朗読発表 ◇

報告 日本語日本文学科 1 年 三雲紫恩

私が読書運動プロジェクトの朗読チームの一員になってから最初に参加したイベントは 9 月 19 日（火）に緑園東小学校で行われた朗読会でした。私たち現役のフェリス生が今回発表したのは「となりのトトロ」の詩で、フェリス女学院大学の OG である「すずの音」の皆さんが発表したのは「100 万回生きたねこ」でした。朗読家・鈴木千秋先生のご指導の



OG の「すずの音」も参加

もと、5 月あたりから練習を積み重ね、発声練習や外郎売だけでなく、朗読を行う上での極意などいろいろなことを教えていただきました。1 年生は私だけであり、先輩方よりも劣っている自分の朗読に苛立ち、なぜ上達しないのだろうと悔しく思うことも多くありましたが、千秋先生が時に厳しく、時に優しく核心を突いたお言葉をかけてくださったおかげで何とか本番を無事終えることができました。

鈴木先生の朗読会や、OG の先輩方である「すずの音」の皆さんの発表会には緑園東小学校での朗読会の前にもお伺いしたことがありましたが、今回も素晴らしい司会と朗読で、私も早く自信をもって朗読ができるようになりたいと思いました。

来年度は 2 年生になり、後輩が入ってくる可能性もあるのでより気を引き締めて朗読の練習に臨もうと思います。

声はお腹から出すと
遠くまで届くんだって！
ぼくもやってみたいな♡



◆ 朗読会 ◆

| | | |
|-------|-------------------|--|
| 第 1 回 | 11 月 3 日 (金・祝) | 大学祭朗読会 演目：あまんきみこ「白いぼうし」 伊勢英子『マキちゃんの絵につき』より 「さびしいマキちゃん」「雨、まだふってる」 喜多南「一年後の夏」 松田青子「少年という名前のメカ」 角田光代「旅する本」 |
| 第 2 回 | 2 月 12 日 (月・祝) | 文学館朗読会 テーマ：「わたしの、ものがたり。」 ～現代女性作家のまなざし～ 演目：〔朗読チーム〕 安東みきえ『夕暮れのマグノリア』より 「マーブルクッキー」 角田光代『Presents』より「名前」 〔すずの音〕 ほしおさなえ『活版印刷三日月堂』より 「ちょうちょうの朗読会」 |

◇ 大学祭朗読会の感想 ◇

報告 音楽芸術学科 3 年 阿部美彩



ポスター作成：図書館

今年は、朗読チームが月曜日と水曜日の 2 つに分かれてレッスンしていただいていた関係で、月曜日のメンバー、水曜日のメンバーで作品の選択肢が異なるようになってしまっていました。しかし、その分、濃いレッスンをしていただきましたので、それぞれ魅力のある朗読になったように感じました。私は、授業の関係で水曜日にレッスンしていただいていたので、同じ水曜日組の子と 2 人

で角田光代作「旅する本」を読みました。練習時間も、2人で作品を合わせる時間も前年とは比べ物にならないほど少なかったもので、当日も不安でいっぱいでしたが、一緒に読んでいた子と力を合わせて読むことができたように感じました。昨年よりも良かったという声もあったので、一安心しました。個人的に、今年の大学祭は今までの3年間で一番忙しいスケジュールだったので、あまり集中できた感じがしませんでした。朗読チームのみんなの笑顔に安心したことは、素敵な朗読会にする力になったと思います。月曜日チームの練習を日頃見ることができなかった分、リハーサルと本番で皆の朗読を久しぶりに聞き、1年前からの成長を強く感じました。今回は個人的なスケジュールの関係で準備や片づけへの参加ができなかったため、あまり皆の力にはなれなかったのですが、鈴木先生をはじめ、朗読メンバーやOGの「すずの音^お」の方、図書館の方々が手伝ってくださったため、スムーズに朗読会が開催できたと感じています。昨年度よりも若干お客様が少ないように感じたので、来年はメンバー側でももっと広報していけたらいいなと思いました。



◇ 大学祭朗読会 ◇

報告 音楽芸術学科3年 鈴木珠友



私にとって今回の朗読会は特別でした。初めて自分で選んだ作品を朗読したからです。また大学祭で朗読するのは3回目で、今回発表するメンバーの中では私が一番の経験者でした。その様なことから、お気に入りの作品を聞いているお客様にも好きになってもらいたい気持ちと、先輩としてしっかり頑張らなくてはいけないという思いで、本番は緊張していました。

緊張もしましたが朗読をしている時、心の支えになったのは一緒に気持ちを込めて読んでいるパートナーが隣にいたことでした。今回は、角田光代の「旅する本」を同じ音楽芸術学科3年の阿部さんと読みました。お互いメインキャンパスが山手であるため、他の朗読メンバーと練習時間が合わず、特別日程を組み練習させていただきました。数回しかない貴重な練習だったため2人とも先生に教わることに必死で、作品理解と表現をよりよくするために頑張りました。

その努力あってか、本番を終え先生には「なかなか良かったよ」とお褒めの言葉をいた

だけ、OGの方には「ぴったりの作品だった」と朗読を聞いて頭の中で作品の絵を思い浮かべてくれたのだとわかり、とても嬉しかったです。最後には阿部さんとお互い笑顔で顔を見合わせて「お疲れ様。ありがとう。」と声をかけあえました。

今回の大学祭朗読会を通して、「旅する本」がたくさんの思い出が込められた作品になりました。この本の主人公のように、またいつか「旅する本」を読み直した時に「今回の大学祭のことを思い出し心温まるのだろうか」と想像すると、より思い入れの深い特別な朗読会になりました。

◇ 大学祭朗読会 ◇

報告 日本語日本文学科2年 穂積優香



今年も11月3日フェリスフェスティバルにて朗読会を行ないました。私は今回で2回目の大学祭だったので、1年前よりも良いものを！という思いで読ませていただきました。今年のテーマは“現代女性作家”、そのテーマに沿ってそれぞれが考え、思いを込めて読めた朗読会になったと思います。私はこの1年で今までやったことのないような役をたくさん読ませていただき、とても良い経験になりました。そんな中で今回の「一年後の夏」は高校生という同年代の役で原点回帰できるような作品でした。練習の期間は、短いお話ですが感動する作品なので、その物語の中でどれだけ感情を乗せられるかということに苦戦していました。ですがその作品の良さに支えられ、本番は物語の感情を声に乗せて朗読ができたと思います。みんなでそれぞれの作品に真摯に向き合ったことでお客さんと一緒に楽しむことができ、改めて朗読が楽しいと思える、そんな1年間になりました。来年もまた違った読みに出会い、より成長できる1年間にしていきたいです。



朗読チームの皆さん、すてきな朗読でした！

◇ 神奈川近代文学館での朗読会 ◇

報告 図書館 森園佳子

冬晴れの2月12日(月・祝)、読書運動プロジェクトのメンバーのうち朗読を活動の中心としている「朗読チーム」が、卒業後も朗読を続けているOG朗読グループ「すずの音」の皆さんとともに、神奈川近代文学館のホールで朗読会を開催しました。文学館との共催で行うこの朗読会も今年で8回目を迎え、来場者数は過去最高の160名を記録しました。毎回楽しみに足を運んでくださる常連の方もたくさんご来場になり、今回もご満足いただけたようです。

今年度の朗読会のテーマは「わたしの、ものがたり。―現代女性作家のまなざし―」ということで、人気女性作家3名の作品をマイクを使わず肉声だけで披露しました。学生たちは朗読家の鈴木千秋先生の熱いご指導のもと、昨年の秋から今回の朗読会のために懸命に練習に取り組み、本番では堂々と読み上げることができました。

また、OGの「すずの音」が読んだ「ちょうちょうの朗読会」(『活版印刷三日月堂』より)は、本学の非常勤講師でもあるほしおさなえ先生が、以前に「すずの音」の朗読を聴いてインスパイアされ、生み出されたお話だそうです。モデルとなっただけあって、とても心がこもった真に迫る朗読でした。

一般のお客さまからも「作品に引き込まれた」「昨年より上手になった」という多くのご感想をいただき、出演者たちは次のステップへのさらなる意欲が増したようです。今回の経験を活かし、来年度もよりいっそう素晴らしい朗読会をお届けしたいです。



ポスター作成：図書館



◆ プロフィール（学生メンバー） ◆

氏名（学科・学年）

- ① 今年の読書の活動で一番印象に残ったものとその理由
- ② 今年読んだ本でイチオシの作品
- ③ 今行ってみたい場所
- ④ 今ハマっていること・もの
- ⑤ これからやってみたいこと、または読んでみたい本

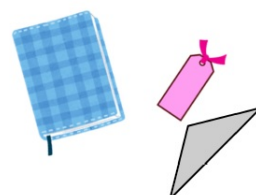


有馬梨咲（国際交流学科 4 年）

- ① 第 2 回読書会：曲を聴きながら感想を言い合えたところ。
- ② 『火花』又吉直樹：イチオシと言うかインパクトがあり心に残りました。
- ③ 日本国内巡りをしたい。そのあと海外進出…
- ④ 世界史を少しずつ学び直すこと
- ⑤ 4 月から社会人なので時間をつくってたくさんの本を読めるようにしたいと思っています。

伊豆美保（音楽芸術学科 3 年）

- ① 選書ツアー：値段気にせず本を買えるのが最高でした。
- ② 実は本全然読んでません(笑) 漫画なら『セトウツミ』（作者：此元和津也）です。
- ③ ウユニ塩湖。あとは千と千尋の舞台になったところ。
- ④ ここ数年は写真とハンドメイドアクセ。
- ⑤ 謎解きが大好きなのでミステリーが読みたいです。



小根山桃子（日本語日本文学科 3 年）

① 文学散歩&選書ツアー:

3 年間読プロに所属していたのに、初めて文学散歩に参加したので。

② 『蜜蜂と遠雷』恩田陸

③ スペイン

④ 睡眠

⑤ 小学生の頃に読んだシリーズ本をもう一度読みたいです。



林陽子（音楽芸術学科 3 年）

① 他大学図書館訪問:

同じような目的の活動を見学することで、更に活動意欲が湧きました。

② 『魔法使いのハーブティー』有間カオル

③ 京都

④ 舞台鑑賞

⑤ 『ビブリア古書堂の事件手帖 7 ～栞子さんと果てない舞台～』三上延



中村好花（英語英米文学科 2 年）

① 第 2 回読書会：

同じ内容の本でも一人一人違う感じ方があって、よい刺激を受けました。

- ② 恩田陸さんの『ネバーランド』です。
- ③ 久しぶりに動物園に行ってみたいです！
- ④ マスキングテープを集めるのにはまっています。
- ⑤ 上橋菜穂子さんの守り人シリーズを全部読んでみたいです。

津田優里香（英語英米文学科 1 年）

① 他大学交流：

黒板素材の本棚を使った本の展示は、どれもオリジナリティー溢れていて素敵でした。

- ② 柚木麻子『本屋さんのダイアナ』です。
- ③ 神保町の古書店街に行きたいです。
- ④ 恩田陸『蜜蜂と遠雷』の影響から、ピアノ曲にはまっています。
- ⑤ 綿矢りさ『勝手にふるえてろ』を読みたいです！



本釜葉津子（英語英米文学科 1 年）

- ① 大学祭での展示クイズ担当：
保護者の方や子供まで沢山のひとと本のお話をしたのが
とても心に残っています。
- ② 『空が青いから白をえらんだのです』—奈良少年刑務所詩集—
- ③ 京都
- ④ ラジオのディレクターボランティア
- ⑤ 『マスカレードナイト』東野圭吾



三雲紫恩（日本語日本文学科 1 年）

- ① 文学散歩：
神奈川近代文学館という学外でのイベントを見に行くのは初めてのことで
森園さん、山下さんはじめ先輩方とさまざまなお話をすることが出来て
メンバーのことがますます好きになれたからです。
- ② 『盲目的な恋と友情』辻村深月
- ③ 箱根
- ④ 夜に電話すること！
- ⑤ 読書運動プロジェクトの存在をもっとフェリス生に知ってもらいたいです。



◆ プロフィール（朗読チーム） ◆



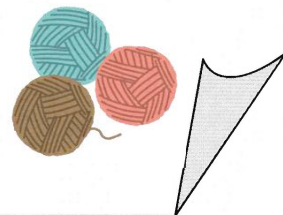
阿部美彩（音楽芸術学科 3 年）

- ① どれも印象に残っていて 1 つに絞れません。
- ② 『ローウェル骨董店の事件簿』（榎野道流著）です。

少し前にふらりと本屋さんに入ったとき、ふと目に入ったこの本がたまたま 2 巻同時発売日だったので、何かの縁だと思って購入しました。戦争の惨めさや異常さ、それにかき回される人々の心の傷や葛藤をしっかりと描き、読者に訴えかけながらも、きちんと読みごたえのあるミステリーになっています。また、主人公の兄弟関係と幼なじみの 3 人の関係性がとても愛らしくて、やきもきさせられたり暖かい気持ちになったり、読者を飽きさせません。伏線が分かりやすい分、いつ回収されるのだろう？と気になって、沢山考えさせられる作品です。思いもしない結末や、巻をまたいで描かれるキャラクターの成長や、新たな絆に、ほろりと涙がこぼれそうになりました。
- ③ 大阪の USJ です。大阪自体に一度しか行ったことがなく、USJ は一度もありません。今は大好きなハリーポッターシリーズのコーナーと、大好きなアニメ名探偵コナンとのコラボイベントもあるので、とても行きたいです。また、場所ではありませんが、今年度の夏、友人と「リアル脱出ゲーム」に行き、とても楽しかったので、また行きたいと思っています。
- ④ 編み物にはまっていて、ベレー帽を編んでいます。去年から編み進めていたのですが、そろそろ冬が終わるのに編み終わらず、今シーズンは被れなさそうなのが残念です。また、毛糸のボンボンでキャラクターやキーホルダーを作って友達にあげることはまっています。最近はボンボンでオリジナルの葉を作って読書友達にプレゼントしました。
- ⑤ カメラが趣味なので、もっとたくさん、綺麗な景色を写真に納めたいです。また、ポートレート沢山したいと思っているので、技術を磨きたいです。

今は、部屋に積み読本が沢山あるので、それを消費したいです。その中でも特に読みたいのは、『さよなら、シリアルキラー』（ハリー・ライガ著）です。タイトルに引かれて立ち読みした所、とても面白くて思わず買ってしまった本で、部屋にシリーズ 3 冊とも持っています。

推理小説でありながら、主人公は殺人鬼として育てられた少年で、犯罪者目線で事件を解いていく切り口が斬新な作品です。



鈴木珠友（音楽芸術学科 3 年）

- ① 大学祭朗読会：
自分が選んだ作品を読んだため
- ② 『雨鱒の川』川上健一
- ③ ホノルル
- ④ ララランドとオペラ座の怪人のサウンドトラック
- ⑤ いつかマラソンに挑戦したいです



小野紘子（日本語日本文学科 2 年）

- ① 大学祭朗読会：
『マキちゃんの絵につき』では 3 歳児を演じるという難関がありました。
- ② 『雨月物語』はオマージュ作品集で、元の作品をしているとより楽しめます。
- ③ 横浜に上京？して 2 年経ちますが、まだ鎌倉に行けていません。
- ④ 博物館や展示に行くことが好きです。仏像、動物系などに行きます。
- ⑤ よく食事が疎かになるので、食べることへの意識を高めたいです。



穂積優香（日本語日本文学科 2 年）

- ① 大学祭朗読会：
初めて自分で選んだ作品を読んで楽しかったです。
- ② 『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』暁佳奈：
初めて泣きました。
- ③ イタリア：大迫力の芸術を生で見たいです。
- ④ 読書：本をたくさん読もう！と色々なジャンルを読んでいます。
- ⑤ 日本人として富士山の頂上まで行ってみたいです。



三雲紫恩（日本語日本文学科 1 年）

- ① 初めて参加させて頂いた、神奈川近代文学館での朗読会です。
- ② 『盲目的な恋と友情』辻村深月
- ③ 箱根
- ④ 夜に電話すること！
- ⑤ 読書運動プロジェクトの存在をもっとフェリス生に知ってもらいたいです。



◆ プロフィール（読プロキャラクター・リプロ） ◆



いろんな
本を読んで
みよう♪

図書館に、
たくさん来て
ね！

リプロ

イヌ科 男子
誕生日 2012年1月24日
身長 34.6cm（フェリスフックス2冊分）
体重 730g（フェリスフックス5冊分）
趣味 読書 フックカバー作り
好きな食べもの カステラ
家族構成 父、母、妹



◆ おわりに ◆

図書館 森園佳子

2015 年度後期の後半から読み聞かせレッスンの活動が始まり、受講者は近隣の小学校で読み聞かせ実習をします。私も引率で小学校に行く機会が増えました。学生は 1~2 人ずつ教室に入り、朝読書の時間の 15 分間で絵本を読むのですが、どの教室でも子どもたちは学生の声に真剣に耳を傾け、ページから目を離しません。そのときいつも「子どもって本当におなはし好き、本好きだな」と実感します。それなのに、成長するにつれて読書は短時間になり、多くの人たちはいつしか本から遠いところで生活するようになります。ところが、読書運動プロジェクト（以下、読プロ）に入る学生メンバーは読書をずっと継続してきた人が多く、ミーティングでは本の話題に事欠きません。文学散歩や選書ツアーといった、本好きにはたまらないイベントに惹かれて読プロに興味を持つ人もいます。同様に、朗読チームの学生も本好き女子の集まりですが、彼女たちは本の世界を声に乗せて届けたいという気持ちが強く、そのために作品を掘り下げ、咀嚼し、味わいます。さらには内なる自分と対話し、表現へと発展させていくのです。本とのかかわり方は本当にそれぞれだと感じます。

読プロの活動開始は 2002 年。2005 年度からは 4 年間、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム（特色 GP）」に採択され、著名な作家の講演会、音楽学部とのコラボ・コンサート、シンポジウムの開催など、大きなアクションで読書推進に取り組みました。そのころに比べると現在は、メンバーによる「自分たちが楽しむ本に関する活動」にシフトしてきています。そんな中、今年はメンバーから「読プロのような活動をしている他大学の学生と意見交換し、活動の参考にしたい」という提案があり、近年、読書推進活動で定評のある帝京大学の学生さんとの交流会が、9 月に実現しました。交流会で刺激を受けたメンバーは、「今までとは違った展示で本の紹介がしたい」と意欲を見せ、折よく持ちあがった写真部とのコラボ企画で、趣向を凝らした展示を作りました。多くのフェリス生がそれを眺めて本を借りてくれ、本との出会いの場を提供できたことは嬉しいことでした。これからも自分たちも楽しみつつ、フェリス生に 1 冊でも多くの本を手にとってもらえるよう、力を尽くしたいと思います。

今年度も多くの方々のご支援をいただき、1 年間を終えることができました。支えてくださった皆さま、ありがとうございました。今後とも読書運動プロジェクトと活動に携わる学生へのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「読書運動プロジェクト（読プロ）」とは？

「本が好き」「図書館が好き」な学生が集まって、教職員と一緒に活動している公認団体です。「学生メンバー」の活動は週一回のお昼休み。図書館でランチミーティングを行っています。毎年テーマを決めて読書会や本の展示を行うほか、選書ツアーや文学散歩に出かけたり、他の団体と協力して学食のメニューを考案することもあります。大学祭では展示発表やワークショップを主催します。

朗読の専門家から直々に指導を受けられる「朗読チーム」は、大学祭や文学館など、学内外で発表の機会があります。近隣の小学校からの依頼で全校生徒に朗読を披露することも。

また「読み聞かせレッスン」では、本の選び方から手遊び歌なども教わることができます。

もちろん、すべての活動に参加してOK！

いずれも大学のプロジェクトなので部費等の活動費はかかりません♪



年間テーマに合わせたもの以外にも、図書館に入れる本をメンバーが自分たちで選ぶ選書ツアーで購入した本を並べるなど、年に数回の展示を行っています♪

朗読チームは毎年、神奈川近代文学館で一般のお客様を前に朗読会を開催し、大好評です♥



同じ本についてそれぞれ感想を話したり、お勧めの本を紹介し合う読書会では友達も増えますよ〜☆

フェリス女学院大学附属図書館読書運動プロジェクト 2017 年度活動報告書

発行日 2018 年 3 月 31 日

編集 フェリス女学院大学附属図書館読書運動プロジェクト

〒245-8651 神奈川県横浜市泉区緑園 4-5-3

TEL : 045-812-6999 E-mail : library@ferris.ac.jp